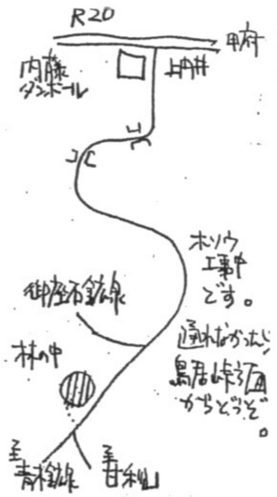
寺崎組新聞
第九十九号
発行所　寺崎組新聞社

平成二十二年度組会地決定！

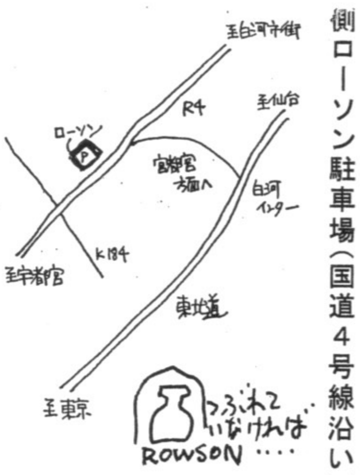
五月一日（土）～三日（月）　**宴**

山梨県韮崎市小武川林道奥
通称コンバットキャンプ場
キャンプ地手前にゲートが出来ましたが、四月二五日からは開いているはずです。


R20
甲府
上円井
内藤ダンボール
ホソウ工事中です。
御座石鉱泉
林の中
通れなかったら鳥居峠方面からどうぞ。
至青木鉱泉
至甘利山

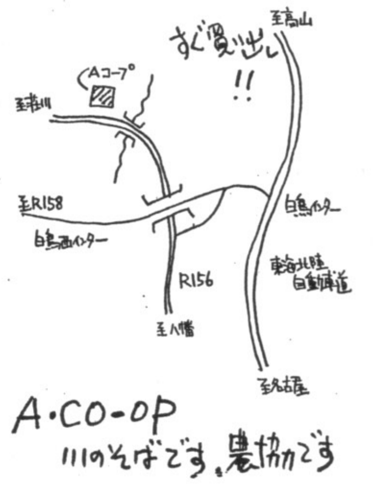
七月十七日（土）　**塾**

十二時集合十三時出発
福島県西郷村東北道白河インター南側ローソン駐車場（国道４号線沿い）


至白河市街
ローソン
R4
至仙台
白河インター
K184
至宇都宮
東北道
至東京
つぶれていなければ・・・・
ROWSON

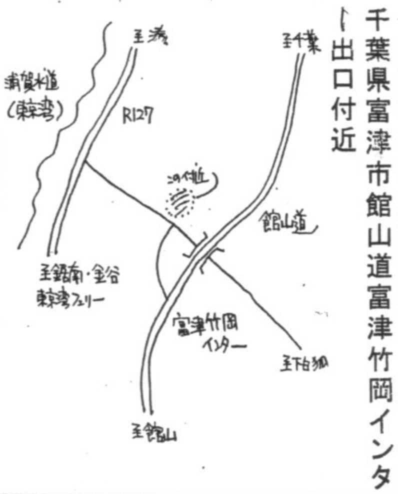
九月十八日（土）　**塾**

十二時集合十三時出発
岐阜県白鳥町Aコープ駐車場（国道156号線沿い）


すぐ買い出し!!
至高山
Aコープ
至R158
白鳥西インター
白鳥インター
東海北陸自動車道
R156
至八幡
至名古屋
A・CO-OP
川のそばです。農協です

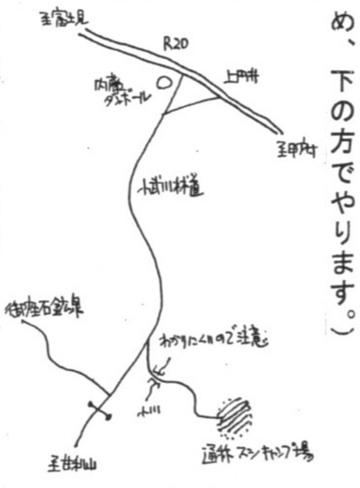
十一月二十日（土）　**塾**

十二時集合十三時出発
千葉県富津市館山道富津竹岡インター出口付近


至千葉
R127
この付近
館山道
至鋸南・金谷
東京湾フェリー
富津竹岡インター
至館山

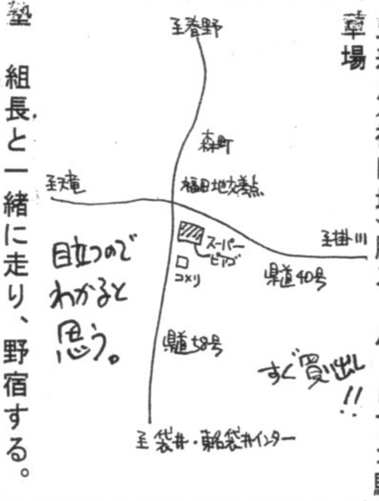
十二月二十五日（土）～二十六日（日）　**宴**

山梨県韮崎市小武川林道奥
通称スシキャンプ場（コンバットキャンプ場手前のゲートが閉まるため、下の方でやります。）


至富士見
R20
内藤ダンボール
上円井
至甲府
小武川林道
御座石鉱泉
わかりにくいので注意
小川
通称スシキャンプ場
至甘利山

平成二十三年
三月十九日（土）　**塾**

十二時集合十三時出発
静岡県森町県道４０号と５８号との交差点（福田地）脇スーパーピアゴ駐車場


至春野
森町
福田地交差点
至天竜
至掛川
スーパーピアゴ
コメリ
県道40号
県道58号
目立つのでわかると思う。
すぐ買い出し!!
至袋井・東名袋井インター

塾　組長と一緒に走り、野宿する。参加費　一人　五〇〇〇円
宴　ただの野宿宴会。参加費　一人　三〇〇〇円
四輪、徒歩など、バイク以外でも参加可。

NEWS！出張野宿開催します！

今年度より、レギュラーの塾4回、宴会2回の他、ためしに「出張野宿塾」というのをやってみようかと思います。

参加料はレギュラー塾と同じ、ただし、組長の往復交通費を頭割りで出してもらいます。

参加資格は組員同士でもいいし、組員の知り合いでも可。ただし塾に参加経験のある組員は必ず一人いなければならない。

参加人数は三人以上十人以下（七、八人以下がベスト）。

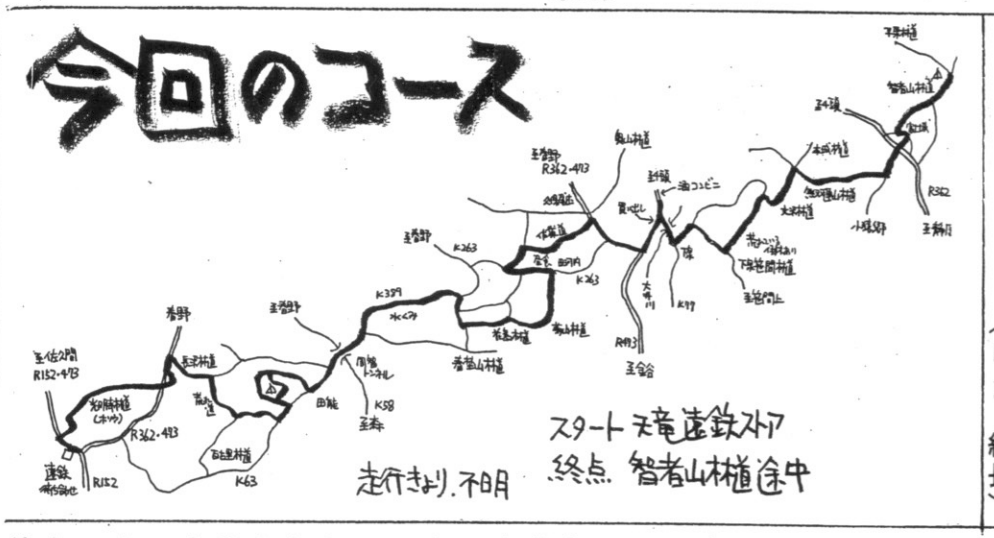
組長と参加者のスケジュールが合えば全国どこへでも（沖縄、離島を除く）出張いたします。

連絡はインターネット支社（組新聞題字下参照）まで。

ドンドン申し込んでね～！

（by　組長）

今回のコース


智者山林道
R362
遠鉄
R152
K63
K58
K389
スタート　天竜遠鉄ストア
終点　智者山林道途中
走行きょり．不明

春が来た！春の嵐もやってきた！

第１３１回組会報告

今回の組会報告は、最近リベンジヨシダと言われている私が１日目を担当します。

私は４時起床、今回はリタイヤはごめんだぞとばかりに、午前５時２０分、リアタイヤの空気圧とエンジン音を確認後、近所の桜土浦ＩＣより一路天竜の遠鉄ストアを目指し出発。都内と東名厚木ぐらいまではお約束のように渋滞中！他のライダーは車と車の間をスリ抜けていくが、私はスリ抜けが怖いので禁断の○肩走行で順調に進む。その後は順調に時速８０～９０ｋｍ（なんせ昭和６２年の２００ｃｃ、これ以上のスピードはエンジンが壊れそうで怖くて出せない）で１１時３０分頃、磐田ＩＣを出て、ガソリン補給をすませ、１２時頃に集合場所の遠鉄ストアに到着。

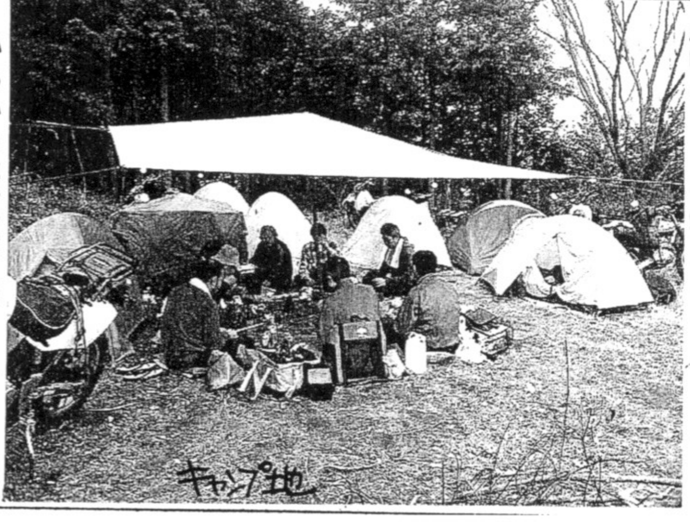
既に１泊しているキックギアの修理上がりのＬＣ４組長、バッテリーレスどころキーレスのＤＲ２５０ゴ三浦、帰りにうなぎ工房に入院予定のＫＴＭ地下鉄、ピカピカなＫＬＲ２５０カバ、モタードからオフロード車になったクインキー五十が到着していました。私の後からピカピカの８６年？セローに乗るアミーゴと噂では三個一のＸＬＲ２５０ＢＡＪＡりょうふう、地元からは組会に備えてチューンアップしたらしい村松岡カブ（敬称略）が到着し、これで全員か？どうやら約１名遅刻らしい・・・。

今回は１３時にいきなり集合場所の遠鉄ストアで買い出しでありました。各々が今夜と明日のメニューを考えながら買い出しをしていると、またもや遅刻の要軽量化のＸＲＢＡＪＡノムラが到着。そう言えば、ノムラが到着前には「頭はいいのだけど、ちょっと・・・」というような会話があったようななかったような気がします。買い出しも終わり、さあ出発！と言うときに、私は前回参加した恵那の組会を思い出し、「ガソリンは？」とノムラに聞くと「入れるのを忘れた！」と言うことで、他の組員はまたもや待たされるのでありました。

全員集合

スタンドへ走ったノムラ到着でようやく本格的に走り出し、林道へと突入！（林道の名前は聞かないでください。私にはわかりません！）林道を何本か走り（実はグルグルしていた。）、本日の幕営地手前に急な坂道が出現！私は最後尾を走っていたので、よくわからなかったが、まずクインキー五十が登り切れず、何人かの組員が後ろから押してようやくクリア。村松岡カブも組員の手助けで何とかクリア。さて、次はノムラ。その場にいる全員が不安な気持ちを隠せずにはいられない中、村松岡さんは予めヤバそうなところで後ろを押す準備をして待機。案の定、村松岡さんの助けで何とかクリア。やはり更なる軽量化が必要なようだ。残りのカバ、りょうふう、ヨシダは自力でクリアをし、最後のヘアピンカーブへ！ここで全体のスピードが落ちてきたので私ＳＸのヨシダは、ローでゆっくりクリアしようとシフトダウンし、ギアを変えると何故かニュートラル、光るニュートラルランプ！左足を着こうとするが、山側の足を出せばいいものを谷側の足を出してしまい、ただでさえ短い足が地面に届かず立ちゴケ。最後尾だったので一人必死にバイクを起こしていると、見回りに来たクインキーに乗る組長にバイクを起こしている姿を見られてしまった。

野宿地に着けば早速テントとタープの用意。ここでクインキー五十は、今夜用事があるとのことで帰路に付く。そして野宿地では準備完了で乾杯！すぐ食える系から料理が回り出す。そろそろ各自のストーブに火がつく頃、またもやノムラが「ホエーブスの使い方を忘れた！」と言い出す始末。優しい地下鉄さんが使い方を教えてようやく着火。そのとき気づいてみればカバさん、ゴ三浦さん、私以外はホエーブス。ホエーブス組は火が青いだの赤いのだの、ストーブが何でそんなにきれいな（汚い）のかとストーブの話に花が咲く。


キャンプ地

いろいろな話題で盛り上がっていくうちに「野宿ライダー飛行機に乗る！」という話になり、一同「何故？」と聞けば、私の記憶が正しければ初期のOUTRIDERのナチュラルツーリングに幼少の写真が載っていたような気がする組長の姪の結婚式らしい。結婚式と来ればスーツにネクタイがお決まり。そうすると今度は「組長が最後に礼服を着たのはいつか？」という話題になり、その内に「ネクタイを自分で結べるか？」という議題になり、「一応できる」「あやしい」などの意見が飛び交う中、圧巻は地下鉄さんの「会社の制服のネクタイはそっと緩めてはずし、輪のままハンガーに掛け、翌日又締める。」という、初めて就職活動をしたときの学生のような意見が飛び出た。（でもとても合理的）さらに夜も更けて（まだ２０時頃）寝パンを食うゴ三浦さんや組長が歯を磨き出す。（翌朝組長は「俺、歯を磨いていた？」と聞いていました。酔っていたらしい。）そのころ村松岡さんの「宴会ヤル気スイッチ」はスイッチＯＮ！「もう、歯を磨いている人もいるし・・」という村松岡さんのぼやきにも係わ

らず、私もさりげなく歯を磨き9時半に就寝の為テントへ。テントに入って気が付いたのですが、今回は「ウスイ峠から始まる駅名連呼」「みゆき様の夜会野宿バージョン他」が無かったなと。何故だろう！こんなに静かな宴会は初めてだ。そう思いながら眠りにつきました。

しかし、午前1時頃、雷が鳴り出し、20年以上前のダンロップ製のテントに横殴りの雨が降ってきた。とは言え真夜中なので、じっと耐え、浸水しないことを祈るのみ。携帯で天気予報を見て、朝には雨があることを確認し、再度就寝。翌朝、午前4時に足音がするので外を覗いて見ると、カッパを着た組長がヘッドランプをして溝を掘っておりました。そんな雨も午前6時には上がり、それぞれ朝食の準備に取りかかる。風が強いので、昨日宴会場に張ったタープが頭上すれすれから3m4mと凧のように風になびく。朝食時の議題は「昨夜は浸水したか？しないか？」でありました。どうやら一番川下にテントを張った組長は浸水したらしい。組員らが、組長が座布団代わりに使っているウレタンマットを見て

「このマットがいけないんだ。こんなにつぶれて薄くなって！1000円ぐらいなのだから新しいのを買えばいいのに・・・」

とか

「元はとったろう。」

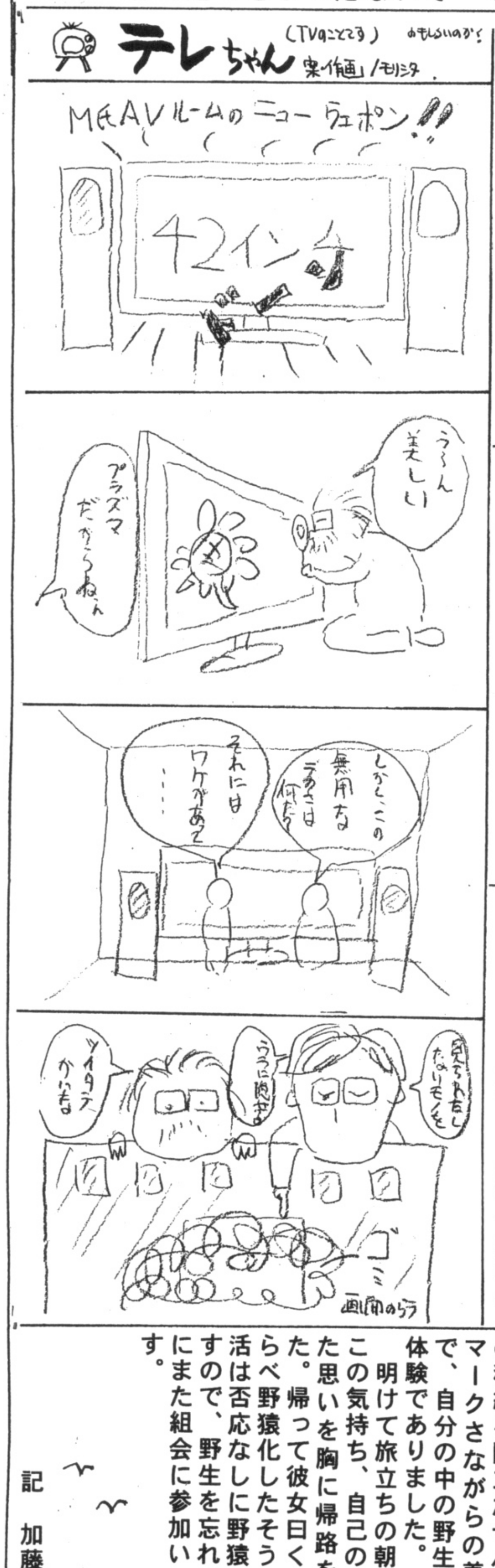
などの厳しい意見が・・・。

朝食が終われば、強風の中、濡れたテントを畳み出発準備に取りかかる。そして全員の出発準備が整い出発。峠を下っていくとなんとアミーゴがセローと抱き合っている（バイクの下敷き）ではないか！どうやら溝にはまってしまったようだ。その後は昨日の雨の影響か？ドロドロな林道を走り、小休止を挟んで又走り出すと、今度はノムラがXRBAJAと抱き合っている。荷物が重くてバイクと地面に挟まり抜けられず、カバさんとりょうふうさんに助けてもらう。本人は毎回軽量化をしているようだが、更なる軽量化が必要なようだ。次の休憩場で約1名がまだ午前11時だというのに「腹減った！」と言いだしたので、休憩をしていた林道脇で早めの昼食。昼食を作っていると、なんとあられが降ってきた。昼食も終わり、3桁の国道に出て少し走ると、分岐でカバさん、ノムラ、私の1泊組は組長達とお別れ。それぞれの帰路に就きました。組長を初めてするご一行様は牧童さんとの待ち合わせの場所へと走っていきました。

私はその後、天竜川沿いに島田市まで行き、東名に乗ると海から山から強風の中、またもや修行のように辛い80km走行とケツの痛みに耐えながら高速を走り、都内では渋滞に耐え、午後7時に帰宅しました。今回も楽しい組会でした。ただし、途中から右肩が痛く（以前より通院中）、連休明けに改めて医者に病名を聞くと「まあ五十肩みたいなものだよ。」だとさ。若かった青春時代に戻りたいと思ったのは私だけでしょうか？

追伸・どなたか私に250cc以上のオフ車をくれる方はいませんか？高速が辛くて・・・。

記　リベンジヨシダ


テレちゃん
(TVのことです)
おもしろいのか!?
「楽作画」/モリシタ
M氏AVルームのニューウェポン!!
42インチ
うーん 美しい
プラズマだからねん
しかし、この無用なデカさは何だ
それには…ワケがあって
ウラに隠す
ツイタテかいな
ゴミ
画面のウラ

組会二日目は旅の愛馬をカワサキ2工程式競技模倣車に代わり、ヤマハ2足2輪型225にスイッチした名古屋の加藤アミーゴ正博がレポートいたします。

3月20日組会初日未明、宴会がお開きとなった後、クッソ雨にたたられテント裏も乾かぬままに撤収、そして旅は続くのである。一泊でお帰りは、遠方より遥々SX200ヨシダさん、チーム西日本のお二人

「ハーマツでバームクーヘン買うんや」

とおっしゃってたカバさんKLX250改め300とノムラさんヤンマーディーゼルコンバイン改めXR250BAJAだいぶマシになったけど過積載。

里に下りる林道の分岐でアディオスまた会う日まで、旅は出会いと別れの連続。組長はじめ一行から離脱して往路来た様に一人旅になると、この瞬間いつも同じ気持ちになる。馬鹿騒ぎ後の寂しさ、同士の道中安全への思い、タフな道を駆けた誉れ、旅の間すっかり忘れてたと云うか考えないようにしてた仕事のコト、そして終着地で待つ人のコト、オートバイの旅の終わり際はいつも寂しい。毎度先に別れ、見送られ、帰路に着く俺の旅。でも今度の俺は違う。カノジョのお許しを頂戴したので、今日は超余裕で見送る側だぜ。連泊サイコー、ひゃっほー、愛してるぜーィ！

二日目は北に進路をとりながら、マイツーリングマップル2007年版でおよそロケーション確認をさすれば、この辺りは榛原郡川根本町界隈とな。酒の買出しはサークルK、泥だらけのオッサン達にアルバイトのお姉さんは不思議なものを見るような眼差し、でもガン見出来ねーといった感じ。お外でプクイチしてると小綺麗な女子が

「寺崎さんですよねー？」

と声を掛けてきた。なんでも組長著書の読者で

「握手してください～」

とな。モテる男は違うぜ。一同一寸ジェラシー、でもオモテには出さず、ややブッチョ面。組長もなんだかチヨット照れてる感じでカワイイし、俺たちいつまでたってもオトコノコなんだね。次は食材買出し行くぜ。ゴ三浦さん

「俺ここ来たことある～」

ってデジャブってた田舎スーパー魚勇。都市部では地産地消がどうのこうの云ってますが、大型輸送車が往来出来ない険路362号線奥地のフードマイレージは、必然的に環境低負荷に最適化されます。お店に並ぶは土の付いたワイルドな旬の地元のお野菜、ハンドメイド感たっぷりの素朴なお惣菜、この黒いお肉は何と思いきや、それはイルカ肉、地元のオッサン村松岡さんスーパーカブ110（ディフェンダーよろしくワンテンと呼ぶ）曰く

「コッチの人は食べるんだよね～、俺んとこは食わねーけど」

ものの程度有れど、多彩な日本の食文化を尊重する意見に俺は賛同したく、豪州の政治的ポーズ団体の排他的強行ストラテジーにとやかく云われる筋合いは一切無く、地に足の着いた文化をこのクッソ山奥で売られる海からやってきた海豚肉から強く感じたのであった。

命の源を補給したらお山へ向かいます。最近は林道の舗装区間が延びてるなどと思いながら標高をかせぎ、りょうふうさんの青春バイクXLR250Rってフレームって黒でしたっけ？は、毎度始動で難儀し

「開けちゃいけねーんだよ」

とか

「ピューって出ちゃうんだよ」

とか、一通り御馴染みのオッサン的発言を一同で醸し、地下鉄さんのKTM450EXCは、なにやら芳しくないゴロゴロ音をエンジンから発し、

「ベアリングかな？」

って御馴染みのオッサン的発言を・・・。雨を落とした後の風はなんだか薄ら寒く、時つれて強さを増し、組長のトランポ軽トラの待つ野宿地に着く頃には、低山でも軽装でなめてると遭難するレベルの暴風になっておった。

着くや否や、寝床の確保もソコソコに組長がケータイ電波を探してまわる。今夜ここに牧童さんをナビゲートするのだ。っつ～か、普通来れねーって、マジでこんなクッソ山奥と思いきや、日も暮れかけた頃、KTMLC4ADVの乾いたエグゾーストが峠に響いた。皆は叫んだ

「ボ～ク～ド～ッ！」

ニュータイプ野宿ライダーは実在する。通じ合わなければ決して辿り着けない「めぐりあい宇宙（そら）」1stガンダム最終話さながらのニュータイプ覚醒でホントに来てしまった。選ばれし者の卓越した能力としか云いようがない。しかしながら誠に申し訳なくも、ニュータイプの到着を待たずしてフライング気味で宴会の火蓋は落とされ、先ずは話題の定番醸造アルコール混ぜの日本酒に辛口ご意見。戦争中に醸造米が不足したのを補うために、日本酒にはアルコールを添加してよいことになり、（中略）一向に改めることとなく、酒屋も飲みスケも酔えたらいいんだ程度でつくりまくり、飲みまくり、以後今日にいたる。開高健『食の王様』より引用よろしく、皆様各々同じ思いを日本酒にお持ちのようです。なんでも飲みますけどね俺は。程無く体調がいまいちすぐれない牧童さんが早めの就寝、つづいて酔うといつも「俺に5分くれ、喋らせろ」な村松岡さんが珍しく床へ沈んで行き、そのかわりに組長が「俺に2時間くれ」と結構遅くまで飲んでいたのでした。

夜が更けても風は一向におさまらず、深夜テントの壁が顔面を圧迫する程歪み迫ってきて幾度となく目が覚め、オシッコしたくてテント外へ出てみれば、日の出前の太陽が遠くの稜線を際立たせパタゴニアのロゴマークさながらの美しさだったので、自分の中の野生に響く程の神秘体験でありました。

明けて旅立ちの朝、いつも感じるこの気持ち、自己の野生を確認できた思いを胸に帰路を目指すのでした。帰って彼女曰く、組み会前にくらべ野猿化したそうですが、都市生活は否応なしに野猿を元の人間に戻すので、野生を忘れ去ってしまう前にまた組会に参加いたしたく思います。

記　加藤アミーゴ正博

組会参加者の一言

・風、雨、雪、アラレ、でもでも皆様の暖かさ、XLRの優しさ、楽しい組会でした。（りょうふう）

・豪雨の中、土木工事をしてくれた親方組長、宿営地を探し当てた名探偵牧童氏。拍手。（村松岡）

・雨の野宿もまた楽しい。次回も参加します。（リベンジヨシダ）

・組長のLC4に乗らせていただきました。上品で且つ荒々しさのある自制心を持って乗らねばいけない単車でした。（アミーゴ加藤）

・物凄い風と黄砂、乱高下する気温に翻弄された組会でしたが、それさえも楽しかったです。もしかしたら初めてかもしれない「歌の出ない宴会」もありました。浜松のバームクーヘンは美味かったですよ～。（カバ）

・テント張る前の急な上り坂は一人なら見ただけで帰ります。上る前も上ってからも写真撮る余裕なかったです（のむら）

・買い出しの田舎スーパーでデジャブが起きました。やっぱりデジャブだったのかなぁ？確かに以前に寄ったハズなんだけどなぁ・・。（ゴ三浦）

・五十（イガ）です。天竜組会では皆さん、お世話になりました。昨年、バリバリになったバイク（クインキー）も、その後手を入れまして、外装をABSプラスチック↓PP、ハイシート↓ローシート、ハンドル高を3cmアップ、前後ホイールを17インチ↓21+18インチ化、前サスのセッティング変更、後サスをジェベル用に換装。やっと、オフ車っぽくなりました。但し、私のウデはそのまま。昨年に比べコケにくくはなりましたが、しっかりと遅いままでした。林道+野宿の組会に日帰り参加という体たらくでしたが、楽しく林道堪能させていただきました。次回はスプロケの丁数を下げ、キャブセッティングを見直して挑みたいと思います。（また125ccかっ！！また125ccです！！）また宜しくお願い致します。（クインキー・イガ）

・EXC入院。うなぎさん、よろしく！。（地下鉄）

編集後記

組長■出張野塾よろしくお願い。

地■出張野塾・伊勢・四国なんかいいんじゃね。

ゴ三■土日しか休めないんで出張野宿いいよう

モリシタ■林道にが手な人出張野塾いいよ

ミノル■日頃の疑問は出張野塾でぶつけろ